

SHOTARO AKIYAMA RETROSPECTIVE



秋山庄太郎「白梅」1956年 ©Shotaro Akiyama 東京都写真美術館蔵

SHOTARO AKIYAMA RETROSPECTIVE

遊写三昧

—秋山庄太郎の写真美学—展

東京都写真美術館 恵比寿ガーデンプレイス内 2002年7月13日(土) — 8月4日(日)

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 JR恵比寿駅東口より徒歩7分 ☎03(3280)0099 <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp> 会場：2階展示室
主催：東京都写真美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会 協賛：花王株式会社 助成：芸術文化振興基金 協力：FUJIFILM
Canon PENTAX Pioneer SOUND VISION BOOK NHK衛星放送 / 株式会社東京印書館／サッポロビール／JCHフォトサロン／SLP DESIGNS
開館時間：午前10時～午後6時(木・金曜日は午後8時まで／入館は閉館時間の30分前まで) 休館日：毎週月曜日 観覧料：一般500(400)円 学生400(320)円
中・高生／65歳以上250(200)円 ※()内は20名以上の団体料金。同時開催の映像展もご覧になれます。東京都写真美術館友の会々員、小学生以下およびお身体
に障害をお持ちの方とその介助者は無料。第3水曜日は65歳以上無料[証明できるものをご提示ください。] 前売り：一般400円 学生320円 中・高生／65歳以上
2000円 チケットはチケットぴあのお店、ファミリーマートで好評発売中! Pコード683-747 FamilyMart JR恵比寿駅みどりの窓口でも前売券発売中(一般のみ)

SHOTARO AKIYAMA RETROSPECTIVE

日本の写真界を代表する作家、秋山庄太郎の写真展を開催いたします。

秋山庄太郎といえば、被写体の個性が際立つ女優、文士などのポートレート、花を華麗に表現した作品などをつぶさに思い浮かべることができるでしょう。今回の展覧会は、1920(大正9)年、東京に生まれた作家の昭和初期から現在に至るまでの代表作約200点を一堂に介し、写真世界を展望します。

出品作品には代表作、ポートレートや花のシリーズに加え、40歳の時に転機を図り、表現の枠を広げたシリーズ「パリの4ヶ月」や82歳になる現在も制作しつづけている「遊写三昧」より最新作を展示いたします。作家が生涯をかけて追究している写真美学をご堪能ください。



秋山庄太郎「ジャスミン・ローズ」1956年 ©Shotaro Akiyama 東京都写真美術館蔵



秋山庄太郎「パリの4ヶ月」1960年 ©Shotaro Akiyama JCHフォトサロン蔵



秋山庄太郎「薔薇は」 ©Shotaro Akiyama 作家蔵



秋山庄太郎「露子」 ©Shotaro Akiyama 作家蔵

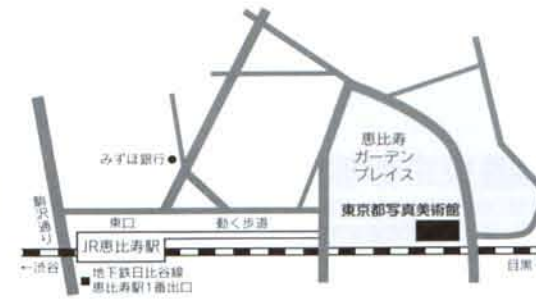


秋山庄太郎「遊写三昧」より 2002年 ©Shotaro Akiyama 作家蔵

秋山庄太郎サイン会(予定)：
8月4日(日)午後2時～2時半 先着100名
変更になることもございますので、詳細はお問い合わせください。
フロア・レクチャー(担当学芸員による展覧会解説)：
7月26日(金)午後2時より

東京都写真美術館
恵比寿ガーデンプレイス内

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 JR恵比寿駅東口より徒歩7分
☎03(3280)0099 <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>



次回展覧会予告「こどものための写真展 写真ってなんだろう」8月9日～9月23日